

番傘フェスタ2025

日時：令和7年3月8日(土)
場所：たかつガーデン(たかつの間)

12時開場受付
出席者 204名



田中主幹によるごあいさつ

第一部 記念式典 司会 森 茂俊

○開会の言葉 幹事長 片岡 加代
○あいさつ 番傘川柳本社主幹 田中 新一

番傘フェスタ2025が、令和7年3月8日(土)に、たかつガーデンにて開催された。

片岡幹事長の開会の言葉の後、田中主幹によるあいさつがあった。

まず、本日の参加者が二百名あまりで盛会になったことに、感謝の意を述べられた。

そして、来賓の小島蘭幸日川協会長と作家の堂垣園江氏を紹介され、堂垣園江氏が、織田作之助青春賞選考委員になられていることも披露された。

また、今年1月4日に逝去された森中

恵美子名誉顧問の遺影と花束が参加者席に供えられていることに触れられた。

今回のフェスタの特徴は、事前投句の宿題「再び」の選者が、第9回水府賞受賞の井本健治氏であること、既存の三賞に加えて、新たにもうけられた水府賞準賞三名の表彰が行われたことである。

第三部の懇親宴まで、会は恙なく進行し、番傘の一層の発展を誓い合って閉会となった。

○新同人紹介

番傘川柳本社同人部長 西 美和子
(新同人出席9名)

稲垣 義舟 田中 利一 山本さくら
谷口委佐子 内田 閑磔 惠利 菊江
富士野弥重 市川 博 皆川 邦子

○永年同人表彰式

45年表彰 間瀬田紋章

25年表彰(出席1名) 本田 智彦

○第10回 水府賞 表彰

佐藤 辰夫(奈良)

○第1回 水府賞準賞 表彰

真島 美智子(佐賀)

横尾 信雄(佐賀)

池本 ゆき(京都)

○第10回 番傘賞 表彰

中川 潔(福井)

○第11回 礪野いさむ賞 表彰

黒川 孤遊(熊本)

第二部 記念句会

司会 銭谷まさひろ

呼名・復唱 柴田 桂子

記名・清記 中岡千代美

副幹事長 大西 将文

○閉会の言葉

第三部 懇親宴

司会 下林 正夫・森 茂俊

幹事長 片岡 加代

○開宴の言葉

○19時 終宴

番傘フェスタ2025

日時: 令和7年3月8日(土)
開場受付: 12時00分 出句締切13時00分
会場: たかつガーデン (たかつの間)

プログラム

第1部 記念式典

14:15 開会の言葉.....幹事長 片岡 加代
挨拶.....主幹 田中 新一
祝電披露.....司会 岡本 西 美和子
新同人紹介(色紙の手渡).....司会 岡本 西 美和子
永年同人表彰
第10回水府賞・番傘賞表彰/第11回礪野いさむ賞表彰
(休憩・表彰者、新同人記念写真)

第2部 記念句会

15:15 事前投句
「再 び」 第9回水府賞 井本 健治 選
宿 題 豊崎番傘川柳会 鈴木 順子 選
「それでも」 川柳 北田 辺 くんじろう 選
「雨ごたえ」 川柳 塔 社 平井美智子 選
「岐 路」 番傘川柳本社 片岡 加代代選
「映 える」 番傘川柳本社 田中 新一 選
「破 える」.....副幹事長 大西 将文

第3部 懇親宴

17:15 開宴の言葉.....司会 下林 正夫・森 茂俊
19:00 終 宴.....幹事長 片岡 加代

番傘フェスタ2025

と き: 令和7年3月8日
と こ: たかつガーデン
No. 1

写真・原木 幸正士

事前投句 「再

び

ネクタイから軍手に懸けた二度の職
再びはない人生をいとおしむ
万博の歓喜再びナニワの地
下積みの過去は語らぬ再生紙
再会へ銀河鉄道予約する

広瀬 勝博
田中 螢柳
高杉 力
木本 朱夏
小林 祥司

たっぷりと抱きしめ子ども立ち直る
今さらに火を付け再度遍路笠
もう一度いっしょに見たい大落暉
また会えるそんな気がする春の風
再会の祈り届かぬ拉致の海
戸田 清孝
谷本 清雲
林 ともこ
浜野みさえ
香川 遊



開会の言葉／片岡加代



第1部司会／森 茂俊

第1部 記念式典



新同人の方々



同人部長／
西 美和子



閉会の言葉／大西将文



記念句会司会／銭谷まさひろ

第2部 記念句会



右から、呼名・復唱／柴田 桂子
記名・清記／中岡千代美





井本 健治 選

(第9回水府賞)

選者吟
向かい風ギアひとつ上げ再起動

井本 健治

またですかさつき終わった朝ご飯 赤とんぼ遊んでくれる子がいらない もう一度探してみます恋心 受け継いで再び愛でる母の雛 悲しみの底でリベンジ練っている 老いた身に再びトライさせるペン 再会は黄色い声でクラス会 再びの出会いに火種疼きだす 懲りたのに再び恋をする間抜け もう二度と返らぬこの日生かされる ポッチャリが好きと言われてまた食べる 不治の病神の手信じ再手術 麻酔から醒めて命を抱きしめる 退院後再びかかあ天下です せつかなあいつと逢いに暮参り あの世には逢いたい人がメジロ押し 麻痺残る手がこれからを語りだす 被災地に居酒屋の灯が蘇る 虚しさを酔わせる酒を今日も飲む 限りあるいのちを生きる再生紙 若き日の中途半端をやり直す きつとまた会える元気でいる限り 再生の尻尾で何度でも勝負 再びの春へ笑顔の炊き加減 再起動素早い妻の立ち直り	田中おさむ 北山 恵一 森田 律子 沖本 万喜 小川賀世子 恵利 菊江 下岡 昌美 稲垣 義舟 栗原つや子 松浦 孝子 大崎よしみ 岩永 順子 山田 恭正 藤田 和甫 稲葉 良岩 小寺八重子 森吉留里恵 嶋 慎一 田中 新一 荻野 浩子 橘 和美 片岡 加代 平井美智子 真島久美子 谷口委佐子
---	---

二回目のジャブで気づいた恋心 アペーよりオルボワールで別れよう 肝臓が再びグレてストライキ 医者投げた匙を仏に拾われる 生かされて我が人生を取り戻す 再起への握り拳を海に向け 泣けるだけ泣いて再起の朝を待つ 再会の喜び言葉などいらぬ もう一度許す味噌汁温める 嘘つく嘘をのがれる嘘が要る デジタル・デトックス雄叫びを取り戻す 生きるため恥の上塗りしています 今度逢う時は綺麗になつてます ギアチェンジ再び動きだすドラマ また会おう握り返して離さぬ手	小林すみれ 西出 楓葉 廣瀬 良磨 正信寺尚邦 志方 智外 下村 郁子 向井 沃 富永 熙子 くんじろう 松岡 篤 阪本きりり 都 武志 藤本 鈴菜 古川 洋子 穂山 常男
--	--



入選句代読 稲葉 良岩

宿題

「それでも」



鈴木 順子 選

(豊橋番傘川柳会)

選者吟

気苦労の多さそれでも愛おしい

鈴木 順子

それでもと今日も笑顔で一歩前
大切な人が逝っても朝は来る
永遠のものなどないと知りながら
母は止めたそれでも夜行列車乗る
枯れて来ましたが心根はまだ二十歳
もう一度信じてみるか好きだもの
知らぬより恥をかいても聞く勇氣
またダメかそれでも挑むジャンボくじ
無位無官それでも父は恩師です
諸物価が高い高いと生き延びる
復興へ風評などに負けられぬ
備蓄米放出しても闇の中
米不足それでも三度温いめし
それでもとまた若嫁のへらず口
倦怠期何度あってもまだ夫婦
ドクターストップ好きなお酒はやめれない
立ち止まり立ち止まりしてする介護
肘てつの君をそれでも夢でみる
門前払い子のため頭下げにゆく
多忙でも週イチ母に会いにゆく
血糖値あちらに置いておまんじゅう
九分九厘手応えあるが念を押す
泣きたい日それでも笑顔売るピエロ
疲れますいい人ばかりなんですが
ごめんねと頭下げつつ自己主張

安西 廣恭
弓山 アヤ
武田 聡
戸沢はたる
小川賀世子
長島 敏子
山本 捷美
久崎 田甫
横尾 信雄
田原せいけん
北川ヤギエ
どいせつこ
藤井満洲夫
戸田 清孝
宗 和夫
岩永 順子
浜野みさえ
沼田 捷二
鈴木 栄子
鈴木 栄子
真島美智子
奥野健一郎
森吉留里恵
黒川 孤遊
長島 敏子

惚けながら暮らしすっかり温めてる
それでもオンナ次を見据えて喪服脱ぐ
それでも生きるホスピスの灯を点し
反対はあるが信じた道を行く
絶望の淵でも前を向いている
熱弁が続く欠伸をしているのに
忘れたいのに在りし日がつきまとう
愛してただけど他にも目が向いて
立ち止まるたびそれでも口に出る
健康へ歩幅一尺でも散歩
被団協の受賞も政府動かせず
暗闇であっても君の掌は判る
結んで開いてそれでも結ぶ思慕
泥船であろうと君と乗った船
それでもと惚れた弱みの塩を舐め
震度7それでも強く前を向く
災害多発それでも其処に住む氣力
種は時々命わずかと知ってでも
逝つてからもわたしの中にきみが棲む
人生は敗者復活何回も
そっぽむくわたしへ釣り糸が垂れる
血の絆ゆすりたかりも許せとや
荒れる波それでも明日をつれてくる
絶望の中でもヒトは立ち上がる
人が好き騙され損をしても好き

辻部さと子
藤村とうそん
鈴木 かこ
油谷 克己
田中美弥子
森田 律子
菱木 誠
小林すみれ
阪本きりり
谷口 東風
弓山 アヤ
武田 聡
古川 洋子
田中五十鈴
石谷 恵子
池本 ゆき
久崎 田甫
佐野 桂子
たむらあきこ
松岡 篤
たむらあきこ
大久保真澄
細田 貴子
五味 尚子
出口セツ子

宿題

「歯ごたえ」



くんじろう 選

(川柳北田辺)

選者吟

カップ麺お湯を入れずに食べる主義

くんじろう

オコゲかと思つてどけていたトリュフ 前菜トランプデザートにプーチン 歯ごたえは確かアルゼンチンタンゴ 飲む打つ買う男勝りの彼女です 歯ごたえのあった小指はあれつきり 骨のある所を少し見せておく 雑穀を噛んで鍛えた強い顎 ゲン天のくわえたままの酒の爛 末っ子は拳を握り締め泣いた 荒削りだけど何かを持っている だんまりを通して舐めるあずきパー 歯ごたえのある物ねだる西太后 おにぎりの梅干しの種折られた歯 平然と三次会まで来る女性 こりっ苦っ鰻の肝にある覚悟 結末はキャラメルよりもやわでした コリコリと沢庵入れる母の寿司 今はまだ固いぞ熟れるまで待とう 港町イワシの骨が柔らかい 想い出は宝歯型を付けておく インプラント百万円のかみ心地 噛んで噛まれて噛んでみるお人柄 おしるこ屋歯ごたえのない雨宿り 牙みがくチャンスヘモンスターを呼ぶ 歯ごたえも欲しいがまずは歯が欲しい	北山 恵一 森吉留里恵 阪本 高士 高橋太一郎 石谷 恵子 藤井満洲夫 皆川 邦子 大崎よしみ 小島 蘭幸 藤井満洲夫 森田 律子 矢沢 和女 市川 博 広瀬 勝博 松井あもん 中武 弓 小寺八重子 三好 聖水 森 茂俊 大西 将文 播本 英二 黒川 孤遊 澤井 敏治 たむらあきこ 佐野 桂子	かちわりを砕けず今日も泣いている 糸切り歯抜いてふわふわふわと 絶妙な善と悪とのミルフィーユ 甘噛みでほんとに好きか確かめる 三十回かんでも飲み込めぬ話 噛みしめたゴマがぶーんと匂い立つ 仏壇にかみつくのなどやめました 楕円形には収まらなかつた父の顎 大阪の土産噛むのに一苦労 阿部定の好みはきつとアルデンテ 先斗町あたりで食べる蛸の足 すっぱんの命いただき手に余る 鞍馬天狗と丹下左膳の二本立て 歯ごたえがあるまで金は使わない 大丈夫あなただの奥歯折りません 通天閣は入れ歯ではかみにくい 耳朶を甘噛みされて力抜け 歯ごたえの歯がだんだんとずれている 鰻頭の仕切りや食べられへんでエ 歯ごたえのないゲストむしやむしや箸子さん マンモスを顎関節が忘れないう コリコリコリ三角波になっている ボンゴレでジャリメンの歯ごたえ隣殺 甘がみをしてくるフランメンコのカカト 歯ごたえが凄い禪締め直す	桑原すゞ代 戸沢はたる 稲葉 良岩 山本さくら 濱野とみ子 神田 良子 西澤 知子 前中 知栄 錦織 久 真島久美子 鈴木 かこ 草間 呱呱 正信寺尚邦 石谷 恵子 原 広子 西澤 知子 島田 握夢 廣瀬 良磨 大崎よしみ 原田 正士 真島久美子 森田 律子 堂垣 蘭 阪本 高士 油谷 克己
--	---	--	--

宿題

「岐路」



平井美智子 選

(川柳塔社)

選者吟

三叉路の決断空を諦める

平井美智子

人生の岐路へ踏み出す春四月
 岐路だったんんじやもんじやが咲いていた
 良心に問うて茨を選ぶ岐路
 たればが落ちていました分かれ道
 迷ったら甘えに来いと里の母
 ここまではラッキーここからが試練
 生きるにも死ぬにも覚悟いる時世
 桜吹雪舞い散る方へ漕ぐペダル
 町を出る君へ手を振るなごり雪
 帰ってこい棚田の風が僕を呼ぶ
 蒼天が教えてくれた別れ道
 神様に遭いたくなくて獣道
 地獄極楽最後の岐路に立っている
 補助線を引いて新たな策を練る
 結局はしんどい道をまた選ぶ
 利き足に方位磁石をつけておく
 分岐点あたり涙はまだ枯れぬ
 別の道選んでいても残る悔い
 人生の岐路の辺りに恩がある
 我が道をコツコツ進む亀でいい
 徳儀にかかってからの底力
 難解な数独岐路に立たされる
 鳥籠を出て蒼天を駆け巡る
 こだわりは捨てよう三月の鱗
 岐路に佇つ心電図から波の音

油谷 克己
 片岡 加代
 出口セツ子
 高杉 力
 鬼頭しず江
 横尾 信雄
 都 武志
 神田 良子
 藤本 鈴菜
 柴田 桂子
 富田 末男
 山田 恭正
 森吉留里恵
 藤原 黎子
 田中 新一
 森田 律子
 中武 弓
 播本 英二
 柴田 園江
 藤井 素子
 嶋 慎一
 嶋 喜八郎
 菱木 誠
 真島久美子
 木本 朱夏

進軍のラッパをしまう時が来た
 幸せは小さい方の箱の中
 人生の岐路右利きは右選ぶ
 おにぎりが高級品になってきた
 ジンペエザメを見ている岐路に立っている
 二本ある結婚線に岐路をみる
 離婚劇どちらにつくか子の未来
 口笛とスキップ岐路を乗りこえる
 岐路に立つわが子の顔が大人びる
 脇道もあって人生咲いた花
 星月夜乗ってみようか観覧車
 石ころを蹴って遊ばす月の岐路
 岐路に立つ心のナヒに訊いてみる
 十字路で潮の変わり目読んでる
 姑のひとこと水に流せない
 生き延びる選択に児を棄てた母
 不協和音母は無邪気に笑うだけ
 こうなれば下駄に答を問うか岐路
 田舎道岐路に地蔵の笑みが待つ
 鉛筆転がした不合格だった
 どの岐路もボクを育ててくれました
 決断の日ものり弁を食べている
 明日からの岐路へ花柄ワンピース
 トースト焦がすか着信無視するか
 真っ直ぐな道には春の頭陀袋

阪本きりり
 山本さくら
 大西 将文
 真島美智子
 小島 蘭幸
 濱野とみ子
 栗原つや子
 間瀬田紋章
 穂山 常男
 津田 照子
 田中おさむ
 前中 知栄
 長井 喜隆
 阪本 秀子
 池本 ゆき
 惠利 菊江
 柴田 桂子
 鈴木 順子
 田原せいけん
 大久保真澄
 たむらあきこ
 真島久美子
 鈴木 順子
 森田 律子
 前中 知栄

宿題

「映える」



片岡 加代 選

(番傘川柳本社 幹事長)

選者吟

夕映えに路面電車がひた走る

片岡 加代

逆光線の中に愛しい人がいる
 いい歳を重ねて紫が映える
 きざらぎの夕日に映える恵美子句碑
 そこに居て下さいと見ていたい
 片付けた部屋水仙が匂い立つ
 桜からエール菜の花雪柳
 ドヤ顔で売り場で吠えているキャベツ
 夕映えの海は答を待っている
 あけぼのの空から春が立ち上がる
 ワンショット君と一緒にいくれる
 カワセミのダイブ捉えたカメラアイ
 鼠色女人らしさは赤以上
 ネクタイの赤がデイルを連呼する
 思い切り映えた写真を吊いに
 グランドピアノに映えるドレスを選っている
 晩学のちよつと知的な五七五
 夕映えが誘うわたしの無の時間
 映えだけを狙うトランプ和平案
 着飾った街で清楚が映えている
 最前列の真ん中花が咲いていた
 シーサーとブーゲンビリアと碧い瞳と
 水たまり飛行機雲はまっすぐに
 オーシャンビュー二人の時を甘く濃く
 あこがれのあなたが来ると座が映える
 朝日にも夕日にも映え富士の山

小島 蘭幸
 小笠原 望
 阪本 高士
 藤本 鈴菜
 岩田 明子
 銭谷まさひろ
 錦織 久
 木本 朱夏
 平井美智子
 間瀬田紋章
 毛利 元子
 草間 呱呱
 田中 新一
 田中 利一
 西澤 知子
 藤井満洲夫
 細田 貴子
 高杉 力
 奥野健一郎
 大久保真澄
 矢沢 和女
 森田 律子
 小川賀世子
 三好 聖水
 井本 健治

夕映えに一人の詩人人生みました
 ブラチナの前歯を入れてみました
 親近感トドと私のツーショット
 しなやかな黒猫映える夢二の絵
 はしゃぎ声第二鈕が映えている
 あくびにもインスタ映えの新生児
 僕と居る時が一番映える妻
 夕映えに影もつられて千鳥足
 長身は得だユニクロでも映える
 大落暉狂ったようにあざやかだ
 美味そうに写れば味は気にしない
 純白が映える時間を抱いている
 黄昏のベンチに映える青春譜
 ミラーボールに映える虚像とあぶく銭
 インスタ映え狙うキョートないちごパフェ
 偵察のドローンが撮った富士の山
 ラストランタ陽に映えるちびた靴
 三原色どろりと混ぜて今を描く
 ステーキは必ず赤い皿で出す
 見映えする女は僕のアクセサリー
 居酒屋に話が映える国訛り
 千枚田水面に映える千の月
 たこ焼きが大阪弁によう映える
 朝の日に映える大河をふとこに
 肩車の父はキラキラしていたね

谷口委佐子
 くんじろう
 大崎よしみ
 上坊 幹子
 森田 律子
 長井 喜隆
 宗 和夫
 稲垣 義舟
 谷口 東風
 阪本 高士
 内田 閑磔
 石谷 恵子
 田中五十鈴
 村田 博
 五味 尚子
 阪本きりり
 鈴木 かこ
 黒川 孤遊
 草間 呱呱
 小林すみれ
 戸田 清孝
 長谷川崇明
 辻 肇
 小笠原 望
 小島 蘭幸

宿題

「破る」



田中 新一 選

(傘川柳本社 主幹)

選者吟

指切りをしたのに先に逝った妻

田中 新一

約束は四万十の旅もう一度 三月の雪約束は後戻り 闇破り平和を願うお水取り マナー破りに怒っています奈良の鹿 好きな茶道守破離の風を友にする 茫然と平穩破る山火見る 破れかぶれキャベツ大玉買いました 確定申告へたい焼きお腹破れてる 千羽鶴破れて散ったセイム川 破るの好きだブーチンもトランプも 帝政も蟻の穴から破れだす 平凡な暮らし破った保証印 貸金庫破る女の私小説 殻破り子亀ひたすら向かう海 一日をご破算にするコップ酒 しゃくやから手紙破って踏んづける 約束を破ると風が突き刺さる チャレンジの拳にきらり春の音 約束を破り施設へ母託す 破顔一笑母は天使になりました 約束は笑顔で送るはずでした 歯の痛み平常心を打ち破る フレイルを突破ピンクのイヤリング 門限に遅れた猫の忍び足 針千本超える嘘つき生き延びる	小笠原 望 藤本 鈴菜 沖本 万喜 細田 貴子 藤原 黎子 桑原ひさ子 西出 楓楽 西澤 知子 市川 博 阪本 高士 橋本 可奈 田中五十鈴 五味 尚子 皆川 邦子 小川賀世子 植野 繁子 林 ともこ 中武 弓 西川 東岳 細田 貴子 山本さくら 藤田 和甫 桑原すゞ代 井倉 和子 田原せいけん	加齢とや美人のわたしわやにする 沈黙を破る咳にもある打算 石の壁破ると辞令待っていた 門限を破る娘の付けまつ毛 困難の極みを破る人の知恵 老いの知恵破れ障子に桜咲く 勢いをつけ突き破る老いの壁 年齢の壁破るぞと一万歩 新記録出した時から向かい風 破ってはならぬ昭和の負のページ ポロポロに破れるまでも読んだ本 ジंकスを蹴破りチャンス逃さない 境界を破って胸の火が燃える 境界をおぼちゃんの群れ突き破る 破れない過去を引き摺るなど夕日 破ってあるページは青春の疼き そよ風が教えてくれた突破口 最後の女だと言ったのはあなた 深い霧破る傘寿のフォグランプ 終章はゆるく生きる決めました 自分破って自分を知って歩く明日 感動が破調となって迸る 破調だとしてもワタシを生きている 身を守る自分の殻は破れない あっけなく破れ散るのも美しい	柴田 園江 長島 敏子 間瀬田紋章 成山きよし 田中美弥子 西上 遊二 井本 健治 佐々木 堯 市川 博 木本 朱夏 河合美絵子 上坊 幹子 菱木 誠 上坊 幹子 谷本 清雲 荻野 浩子 森吉留里恵 小林すみれ 村田 博 中武 弓 小山恵美子 志方 智外 たむらあきこ 宗 和夫 小林 祥司
--	--	---	---